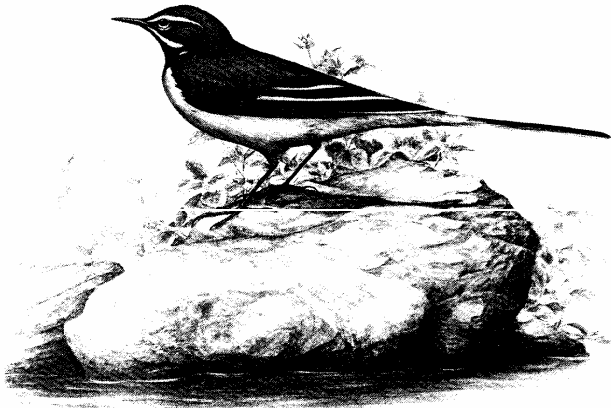


いしたたき



ー イシタタキ ー

この鳥は主に河川周辺に棲んでいて、いつも尻尾を上下に振るので「イシタタキ」と呼ばれるのです。正確には、セキレイ科の鳥です。日田では普通、ハクセキレイ・セグロセキレイ・キセキレイの3種類が見られます。それぞれ、体の色で区別しています。このうち市内で周年見られるのはセグロセキレイとキセキレイですので、「イシタタキ」とは、この2種類をさすことばです。

『 夜明ダムの堰への改修と、鮎が溯上し舟運が復活する筑後川の実現 』

1、現状の夜明ダムは、堰程度の役割しか果たしていないにもかかわらず、筑後川の河川機能を分断する最大の障害になっている。

■ 治水／洪水調整面では主要な役割を果たして折らず建設省の洪水調整システムでも上流ダムの運用に準じて放水する程度である。(川をせき止めている構造上の必要性)

■ 利水／江戸期に築かれた旧袋野堰(瀬の瀬堰、夜明ダムにより水没)から袋野用水で供給されていた程度の料で充分であり、耳納山麓土地改良区へは主に合所ダムの水が供給されている。

■ 発電量／夜明発電所の能力は12,000kwであり、河川機能を妨げない小水力発電へも容易に転換できる程度の発電量である。(柳又発電所の1/5)

■ 環境、障害面／舟運や鮎等の溯上に対する機能を全く持たない、河川を分断するダムである。また、ダム下は通常ほとんど水がなく、夜明溪谷(地峡)と呼

ばれた筑後川屈指の景観と川の自然生態系を破壊し、水質の汚染をもたらしている。

2、夜明ダムを全面改修し、江戸期以来の伝統技術を用いた石積みの『新袋野堰』として再生させる。日田、久留米、大川を結び有明海へと至る舟運を(筏を含む)を復活させ、有明海から天然の鮎が溯上する筑後川をよみがえらせる。

流域の人々や物質を運び、観光面でも大きな役割を果たす。また、筑後川の河川機能と自然生態系を大きく向上させることとなる。ダムの構造面からも、固定堰にゲートを降ろした形状であり改修は容易である。ダムの基底部分を活用し、旧袋野堰の技術と併せた改修が可能。

3、舟運を可能にし、鮎が溯上する自然石の堰の実現は、河川法改正後の筑後川再生のシンボリック的存在となり、全国のモデルケースとして画期的な役割を果たすものとなる。



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



連続学習会・公開シンポジウムのご案内

「夜明ダムの堰への改修と、鮎が溯上し舟運が復活する筑後川の実現」

主催 ひた水環境ネットワークセンター

共催 NPO 筑後川流域連携倶楽部・日田市民セミナー

第1回学習会（終了報告）

テーマ

水量増加、大山ダムの建設と三隈川への影響、夜明ダムの現状

三隈川に注ぐ最大の清流、赤石川に建設される大山ダム(福岡都市用水)は、筑後川上流と日田の水量・水質・鮎等はどう影響するのか。

日時

10月18日(水) 19:00～

会場

筑後川交流センター「紫明庵」

講師

大矢野 栄次 (久留米大学教授・産業経済学研究所長)

会費

500円 (交流会費)

第2回学習会

テーマ

ダム群連携の調査開始、福岡都市圏の水事情と、夜明ダムとの関連

日田市議会の反対にもかかわらず、寺内、江川ダムに上流松原ダムの水を導水するダム群連携事業の調査が、大肥川を含め開始されます。その問題点と課題。

日時

11月14日(水) 19:00～

会場

筑後川交流センター「紫明庵」

講師

坂本 紘二 (下関市立大学教授・筑後川まるごと博物館アドバイザー)

会費

500円 (交流会費)

第3回学習会

テーマ

筑後川流域圏の再生と、舟運復活に向けた夜明ダムの改修

筑後川流域の人々と物質の流通、鮎の溯上を含む自然な河川の再生、地域の活性化にとって、夜明ダムの堰への改修による可能性増大。

日時

12月13日(木) 19:00～

会場

筑後川交流センター「紫明庵」

講師

駄田井 正 (久留米大学経済学部長・筑後川流域連携倶楽部理事長)

会費

500円 (交流会費)

公開シンポジウム

テーマ

全国初のダム改修による筑後川の再生を！

日時

2002年 2月3日(日) 14:00～17:00

会場

日田市文化センター

ゲスト

大熊 孝 (新潟大学教授・信濃川水量増加運動)

パネラー

諫本 憲司 (ひた水環境ネットワークセンター座長)

〃

大矢野 栄次 (久留米大学教授・産業経済学研究所長)

〃

坂本 紘二 (下関市立大学教授、筑後川まるごと博物館アドバイザー)

〃

駄田井 正 (久留米大学経済学部長、筑後川流域連携倶楽部理事長)

参加費

無 料

お問い合わせ

ひた水環境ネットワークセンター事務局 (日田青年会議所内) : 0973-24-7150

日田市民セミナー(成毛)

: 0973-24-2190

※ 参加者多数の場合は、会場を変更する場合があります。



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。





ローカルエネルギー見学会のお知らせ！

ローカルエネルギー研究会 甲斐 美德

日田市内において個人、自治体、企業が自然エネルギーの導入に取り組んだ事例の見学会を開催します。平日の日中ですが、興味のある方は都合をつけて是非ご参加ください。

日時 11月28日(水)
主催 ローカルエネルギー研究会
後援 日田市
会費 昼食代のみ実費負担 (1,000円程度)
日程 下記のとおり

10:00 日田市文化センターに集合・出発 (以後、自動車の乗合で移動)
10:05 諫本憲司事務所①を見学
10:50 日田市立北部中学校②を見学
12:00 サッポロビール内のレストランにて昼食
13:00 サッポロビール新九州工場③を見学
15:00 九州電力(株)日田電力所④を見学
16:00 日田市文化センターに帰着・解散

見学会の内容は次のとおりです。

- ① 諫本憲司事務所・・・「日本の杉をを守る会」会員だけに、日田杉をふんだんに使った木造建築で土地家屋調査士事務所を新築した。暖房用には薪ストーブを導入して木質バイオマスの活用を図る。
- ② 日田市立北部中学校・・・40KWの太陽光発電システムを導入。環境教育の好材料でもあり、これを機会に学校版ISOの認証取得への取り組みも始まる。公共施設への積極的導入は他の自治体への波及効果も期待される。
- ③ サッポロビール新九州工場・・・水を下水道に流すまでの標高差を利用した10KWの小水力発電。嫌気性廃水処理施設で発生したメタンガスを回収して、工場用燃料として再利用するシステム。太陽光・風力発電により時計や屋外灯の電力を自給。このほかピオトープなど環境に配慮した仕掛けが随所に見られる。
- ④ 九州電力(株)日田電力所・・・天瀬町にある女子畑水力発電所と併設。筑後川上流域は水力発電のメッカだが、そのすべての制御や運用はこのコントロール・ルームで行われている。

※ 参加を希望される方は、11月26日(月)までに連絡してください。

連絡先 : 甲斐 美德 (ローカルエネルギー研究会 代表)

☎ 0973-24-5613 (自宅)

☎ 0973-23-2215 (職場)



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



第9回 全国水環境シンポジウム & 交流会 ⁱⁿ 九州里

主催 第9回全国水環境シンポジウム & 交流会 ⁱⁿ 九州里実行委員会
共催 全国水環境交流会・NPO筑後川流域連携倶楽部

水・人・交流

くに

「人は里を越え、水は地球をめぐる」

とき 平成13年11月23日(金)～25日(日)

ところ 久留米大学 御井学舎 メディアセンター

11月23日(金)

13:45～15:15

基調講演1 菊地恒三郎(前真岡市長)

15:30～17:30

基調講演2 阮本清(中国水利水電科学研究所 水資源研究所)

- 分科会
1. 旧来の「水物語」を生かした川づくりはできるか。
 2. 舟運は新たな川の役割を創造できるか。
 3. 水の国際交流なしに地球環境を救えるか。
 4. 環境保全に海・山・川をどう連携させるか。
 5. 教育と川の良い関係は築けるか。
 6. 交流拠点づくりに何が求められているか。
 7. 流域管理に市民はどう参加できるか。
 8. 変わる干潟への認識が海を救うか。
 9. いま時の企業に何が求められているか。

18:00～

交流会

11月24日(土)

9:30～10:30

分科会報告

10:40～12:00

パネルディスカッション「水・ひと・交流」

12:00～12:10

まとめ(総括)

※ 同時開催

九州「川の日」ワークショップ2001

日時/2001年11月24日(土)13:00開会～25日(日)閉会

場所/久留米大学メディアセンター

主催/九州「川の日」ワークショップ実行委員会

協力/九州流域連携会議・九州地方整備局・九州地方計画協会

11月25日(日)

9:30～14:00

エクスカーション

- ・筑後川上流域見学コース
- ・筑後川下流域見学コース





筑後川上流域フィールドワーク行程表

(全国水環境シンポジウム&交流会エクスカージョン・筑後川上流域見学コース)

| | |
|-------|--|
| 9:20 | 久留米大学御井学舎集合 |
| 9:30 | 出発 (全体解説/ 専任講師 成毛克美) |
| 10:00 | 山田堰・夜明ダム (車中解説) |
| 10:30 | 高速日田インター |
| 11:00 | 小野川・小鹿田焼 (解説/ 窯元 坂本茂木) |
| 11:30 | 昼食 (車中にて弁当) |
| 12:00 | 豆田旧街並 (車中解説) |
| 12:20 | 「朝霧の館」・三隈川 (休憩・見学) |
| 12:40 | 三隈川上流・玖珠川水系の自然 (車中解説/ 郷土日田の自然調査会代表 佐藤仁蔵) |
| 14:00 | 九重高原・長者原ビジターセンター、自然散策路 (解説/ 九重の自然を守る会会長 嶋田裕雄) |
| 15:30 | 南小国・源流“清流の森・平野台水源” |
| 16:20 | 小国町・木魂館 (解説/ 九州ツーリズム大学 宮崎事務局次長) |
| 17:00 | 杖立川・大山川・津江山系の自然 (車中解説/ 郷土日田の自然調査会代表 佐藤仁蔵) |
| 17:40 | 高速日田インター |
| 18:30 | 久留米大学御井学舎到着・解散 |

※ 交通費 (バス利用一般1,000円・学生は無料)

※ 弁当代 (500円程度、または持参)

※ 参加の可否・バス利用・弁当予約等は、11月19日(月)までに、ひた水環境ネットワークセンター事務局までお願いします。

※ 久留米から参加できない方は、日田からの合流も可能です。

お問い合わせ

第9回全国水環境シンポジウム&交流会在九州里実行委員会事務局 (NPO筑後川流域連携倶楽部内)

TEL 0942-33-2121

FAX 0942-33-2125

筑後川上流域フィールドワークについては、

日田市民セミナー (成毛 克美)

TEL 0973-24-2190

ひた水環境ネットワークセンター (NPO筑後川流域連携倶楽部へ団体加入しています。)

TEL 0973-23-7150

FAX 0973-22-8265



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



～活動報告～

日田木材協同組合 木材青壮年会 40周年記念講演会

日田木青会・会長 瀬戸亨一郎

「日田の山は宝の山」バイオマス利用について・・・

講師 鹿島建設(株)主任研究員 伊藤 正 氏

さる9月25日、日田木材協同組合会議室にて日田木材協同組合青壮年会の主催で催された。

近年、林業を取り巻く環境は益々厳しさを増していますが、特にダイオキシン問題を含んだ木くず等の焼却問題もからめて講演いただいた。

まず、バイオマスの定義からいり、分類、特徴、導入効果等の説明があった。次にバイオマスの転換技術として燃焼系と発酵系があり、それぞれの特徴とともに、日田における最も適した方法を提案できないかを説明いただいた。

ボイラーで燃焼してスチームをつくりタービンで発電することが、理想のかたちですが、なんと言ってもコストの問題がたちはだかるわけです。

林産廃棄物系のバイオマスには、間伐材、工場の木くず、パーク、建築廃材、剪定枝葉、林地残材等があるが、集積、輸送をどうするかがまず問題です。

日田には、別に農畜産系の廃棄物もかなりあり、生ごみ同様に有望なバイオマス資源ですが、排出量に季節的変動が大きいので、この波を平準化するのに林産系とあわせて利用すべきとのことであつた。

しかし、林産系のバイオマスの発生熱量は低く経済性評価となるとなかなか厳しいシュミレーション結果となっているようです。

現状の技術レベルでは、採算性は低いと言わざるをえないが、日進月歩の技術革新により設備費の低下や効率のよいタービンの開発など期待されるものは多いので常に情報を得て研究を進めることが肝要のようです。

また、関係業界はもちろん行政や市民の皆さんを含めた意識改革が一番大切なことのようにです。

いずれにしましても、環境をささえる林業の現状が厳しいだけに、参加された方々も真剣に聞いておられた。

事務局よりお知らせ

当センターは、「子どもたちに泳げる川を！」をスローガンに、水環境に関心のある個人や団体で構成され、ネットワークを通して、会員それぞれの考えや活動を広く市民や行政などに伝えながら、より良い日田の水環境をつくれるよう活動しています。

環境問題は1人や2人の努力では解決しません。是非、私たちの活動や思いを理解し、「ひた水環境ネットワークセンター」へのご入会をお願い致します。

(個人・団体にかかわらず入会できます。)

発行：ひた水環境ネットワークセンター

事務局：大分県日田市三本松2-2-16 日田商工会館3F (社) 日田青年会議所内

TEL：0973-24-7150

FAX：0973-22-8265

Email： hita-jc@oitaweb.ne.jp



いしたたきは、環境保護の為、再生紙を使用しています。



秋の『水の森』 森林づくり

参加者大募集！！

秋の『水の森』作業と森林体験を行います。

今回は特に今までの主力として頑張ってきました「はかた夢松原の会」が博多湾沿岸の植林で日程の調整がつかず参加できないために大人数の減少が予想されてます。皆さんの多数の参加をお願いします。

日 時 平成13年11月11日(日) 10:00~15:00

場 所 日田市千倉ダム周辺「水の森」
直接水の森まで来てください。
ただし、大型バスは入れませんので事前に連絡ください。

参加費 無 料

日 程

- 9:30 現地スタッフ集合
- 10:00 「水の森」 集合
- 午前の部 ◇林内遊歩道づくり
道を機械で切り開いています。
そこに栈道(丸太の階段)をみんなで作ります。
- 昼 食 おにぎりなどこちらで準備します。
◇ 地元とのふれあいを検討中
- 午後の部 ◇林内遊歩道づくり(つづき)
◇秋の森林内散策・植物採集
(アケビやカズラ取りなど)
- 14:30 「水の森」 終了
終了後、日田の街並み温泉体験
参加者には、流域の「カップマネー」の配布。

問い合わせ : 「水の森」の会 事務局長 財津忠幸

連絡先 : 大分西部森林管理署 TEL 0973-23-2161

FAX 0973-23-2163

E m a i l zaitut@ruby.ocn.ne.jp